

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4 年 4 月 8 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
SOMPOケア株式会社	そんぽの家 朝日ヶ丘	介護付有料老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
移乗介護	FUJI 移乗サポートロボット Hug T1-02	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4 年 3 月 14 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 3月14日に入浴介助時の移乗補助として導入し利用者3～4名を対象として導入を実施。その後施設内にて新型コロナウイルス感染症発生の対応により運用を一時中断しているが、4月より対象者を再選考し運用再開を予定している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 寝台浴への移乗の際に介護ロボットを利用することで、導入前は職員2名で40分かかっていた介助を、導入後は職員1名30分で実施することが出来ており、職員の負担軽減、時間の短縮等の効率化が図れている。		
【介護ロボットの不都合な点】 特になし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団愛友会	介護老人保健施設 ハートケア流山	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	エスパシアシリーズ KA-N1711J (ナースコール中継ユニット含む)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 15日	12台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
①夜間時の見守り 転倒転落のリスクが高い利用者に使用。 認知症によりベット臥床後いつ起きるかわからない方の常時見守りに毎日使用		
②ポジション機能を活用し、利用者個々の状態に合わせた角度調整に使用。 臥床時や食事介助時、排せつ介助時等その都度個々の決められた角度に間違いなく合わせられる為その都度毎日使用		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
①定期巡視は1時間に1回となっている。リスクの高い利用者は30分に1回巡視を行っていたところ、センサー付きベットを導入したことにより、1時間に1回の巡視で対応できている。 消灯から起床まで8時間 1回の巡視に係る時間約5分 夜勤勤務者8名/日 1台につき 導入前：16回×5分=80分×30日=2400分 導入後：8回×5分=40分×30日=1200分		
②転倒リスクが高い利用者は臥床時低床、排せつ介助時低床では職員の腰痛原因となるため介助しやすい高さまでギャッチアップするが、電動になったことにより負担軽減 1台につき 導入前：1日5回×2分=10分×30日=300分 導入後：1日5回×30秒=2分30秒×30日=75分 腰を屈めずに利用者を起こすことができるため、腰痛予防に効果あり		
【介護ロボットの不都合な点】		
センサーベットのスイッチをOFFにするとスイッチの入れ忘れ事故が起こるため、極力OFFを避けたいと考えるが、センサーベット機能のセンサー一時停止機能の時間が3分と短い為、ベット上でのリハビリ時、センサーが作動してしまう。一時停止時間の変更が可能だと良いと考える。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 鳳雄会	介護老人保健施設ほうゆう苑	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り	①コールマット・コードレス HC-R	
②見守り	②ベッドコール・マットレス BC-RN	
③見守り	③超音波・赤外線コール HUI-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月1日	①2台 ②2台 ③1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>①夜間、ベッド臥床時 足側のベッド脇の床に設置。トイレなどでベッド上端座位になり足をついた際に作動。</p> <p>②夜間、ベッド臥床時 防水シーツの下に設置し、上体を起こした際に作動。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <p>見守り業務の負担軽減がはかれ、安全に対応することが出来て効果があった。 介護時間の短縮については、別紙参照願います。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ機種種の電源スイッチが裏側に小さくあるため、電源の入・切がし難い。 ・使用する個数が多くなり過ぎると、対応が出来なくなるかもしれない。 ・超音波、赤外線コールは感度が悪く、反応が不正確である。 		

<介護時間の短縮について>

	介護ロボット導入前	介護ロボット導入後
A	5分×8回×30日=1,200分	5分×5回×30日=750分
B	5分×8回×30日=1,200分	5分×6回×30日=900分
C	3分×8回×30日=720分	3分×7回×30日=630分
D	5分×8回×30日=1,200分	5分×8回×30日=1,200分
E	5分×8回×30日=1,200分	5分×6回×30日=900分
	5分×2回×30日=300分	5分×2回×30日=300分

介護ロボット導入前

$$5,820 \text{ 分 (5名合計時間)} \div 3 \text{ 人 (介護職員数)} = 1,940 \text{ 分} \quad \underline{32.3 \text{ 時間}}$$

介護ロボット導入後

$$4,680 \text{ 分 (5名合計時間)} \div 3 \text{ 人 (介護職員数)} = 1,560 \text{ 分} \quad \underline{26 \text{ 時間}}$$

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 貴城会	介護老人保健施設 アモールケア白井	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り機器の導入に伴う 通信環境整備	① Neos+Care ネオスケア ② W i F i ルーターの設置 (商品名:エレコムWAB-M2133)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 28日	① 9台 ② 一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
10ユニットにそれぞれ動きが多く転倒などのリスクの高い利用者様の居室に設置。 従来から使用しているセンサーマットと併用して使用。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
転倒リスクのある利用者様の対応において、従来のナースコールやセンサーマットではわからなかった利用者様の状況がシルエットを目視確認することで、状況の把握や優先判断ができ、よりの確な介護を行うことが出来るようになった。		
【介護ロボットの不都合な点】		
設置数が少ないので、従来のセンサーマットとの併用となり、端末を2つ所持しなければならない点で、負担増となる。 今後増設することで、より優先判断に効果が期待できるものと考えられる。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団寿光会	介護老人保健施設エスポワール 大原	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	(株) テクノスジャパン コールマットコードレス (HC-R) ベットコールコードレス (BC-RN)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 2月 8日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>転倒リスクのある利用者を選定し、利用状況一覧表を作成し利用状況を把握、夜間就寝時をメインにセンサーマット全台毎日使用中。適宜リスクマネジメント委員会にて、他職種（看護師・理学療法士・介護職員）が連携しながら、使用についての検討会を行っている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>センサーマットを導入したことにより、ベッドサイドでの転倒転落が軽減し、コードレスタイプのためコードに利用者や介護者がつまづくこともなく利用出来ている。またナースコール連動で直接手持ちのPHSに受信でき介護職員のスピーディーな対応と精神的不安の解消につながった。介護時間の短縮については、夜間の巡視（平均1時間に1回）と、転倒リスクの高い利用者には、30分に1度巡視に行っていたが、導入後は、1時間に1回程度の巡視になることで、負担軽減に繋がっている。（夜勤時の巡視時間約200分⇒約100分に軽減）</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>現在正常に作動している。</p> <p>始めは、センサーマットに違和感を覚える利用者もいたが、徐々に慣れ問題なく利用されている。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 16日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団伝統医学研究会	介護老人保健施設 ハートビレッジ	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	HC-R コールマットコードレス MSN1200R (ケアコム分配コンセント BB-301WZ-2P/W6P-NC)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 2月 10日	2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 認知症により自身の身体状況の理解が難しく、転倒の危険性が高い利用者の方や、入所前に病院等で体幹ベルト等の拘束をされていた新規利用の方に、夜勤帯と臥床時に使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 以前はすでに立ち上がっていたり、歩き出している状況で発見することもあったが、導入後は迅速な対応が可能となり事故を未然に防ぐことができている。 見守りの回数を減らすことにより、職員の労力や精神的な負担も軽減できている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・利用者の体格にもよるが過剰反応や誤作動がある。 ・職員が機器を過信し過ぎる傾向がある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 30日 /

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 哺育会 /	介護老人保健施設 ハートケア市川 /	介護老人保健施設 /
b 介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り /	見守り支援ベッド (パラマウントベッドエスパシア) ナースコール中継ユニット NU-18G0 /	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月13日 /	24台 /	
<p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>転倒・転落の危険性が高い利用者様に使用。利用者様の特徴に合わせて細かい設定 (起き上がり、端座位、離床、見守り) をして、転倒や転落を未然に防止するための見守りを行っている。 /</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 /</p> <p>※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>ナースコールや PHS と連動しているので、早期発見、速やかな対応が可能となり、転倒、転落防止につながっている。利用者様の離床のタイミングに合わせて、見守りや介助が行えるため、職員の精神的な負担軽減にもつながり、夜勤者の見守り業務において役立っております。 /</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>入所者様の個々の状況に合わせ、設定することに少し慣れないケースあり。 使用方法、周知に時間を要する。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 3月 31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 誠馨会	総泉病院介護医療院	介護医療院
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
移乗介護	マッスルスーツ Every	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 10日	7台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 利用者さんのベッド上の離床、臥床、体位交換、排泄介助、ベッドから車いす等への移乗介護にほぼ毎日使用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u> 介護スタッフより『腰への負担軽減が感じられる』、『腰痛の不安解消により、利用者さんへの丁寧なケアに繋がっていると思う』、『利用者さんに対する移乗介護等ということもあり、大幅な介護時間短縮とはならないが、職員一人につき1日15分程度の短縮にはなっている』、『もっと台数を増やしてほしい』との報告がありました。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 サイズが2種類あり、職員の体型によっては使えない人もいる。 太ももにパッドがあり、しゃがむ動作はやや難あり。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4 年 4 月 8 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社 EMIKA	小規模多機能居宅介護 ソレイユ高根台	小規模多機能型居宅介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
リフト付き付き シャワーキャリー	LS-310 LTC-100 リフト付きシャワーキャリー (収納式レール)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4 年 3 月 20 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 日々5～10名の入浴サービス利用者の中で、約半数が車いすの利用者であり、また歩行できる方でも浴槽を跨ぐことが難しい利用者がある。その利用者に向けてリフト付きシャワーキャリーを利用して湯船に入ってもらった。 使用頻度：毎日（入浴実施時） 機器利用者数：平均5名		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 入浴サービス車いす利用者 1日約5名 浴槽に入る介助を、2人介助から1人介助に変更する。 浴槽に入る・出る時間は合計約10分×5名+10分 ※介助時間だけではなく、2人介助時に2人目を他業務から手を止め、呼ぶ手間や待っている時間も併せて発生している。 ※リフトを使用しない介助により、職員及び利用者への身体的負担も軽減できる。 介護短縮時間 1日約60分		
【介護ロボットの不都合な点】 <ul style="list-style-type: none">介護機器の使用に慣れるまで、通常の入浴より時間がかかってしまう職員がいる。メンテナンス及び修理などの費用が発生する。使用しない際は、置き場所に困る。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月24日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社 ZENウェルネス	アシステッドリビング若葉	特定施設（介護付き有料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	リフト付きシャワーキャリーLS310	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年2月16日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>導入以前はストレッチャー浴（機械浴）で対応せざるを得ない入居者様10名を入浴支援ロボットを使った個浴へシフトすることが出来た。また、立ち上がり、足上げ、着座動作が不安定な入居者様3名に対しても、介護ロボット使用にて安全に移動、入浴が可能となり、毎週月曜日から土曜日までの入浴日には毎回使用している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>浴槽への移動時間の短縮と浴槽内での着座立ち上がり介助をロボット導入により安全かつ効率的に行う事が出来、職員の心身の疲労と腰痛の軽減が出来ている。入居者様からの声として、浴室から浴槽へ入る時の足上げ時介助があっても不安であったが、シャワーキャリーに着座したまま浴槽に入れる事で安心して入浴を楽しむ事が出来たとの意見を多く聞かれた。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>シャワーキャリーと浴槽のジョイント部への接続、脱離時に比較的大きな音がする為驚かれるご入居者がいる。またシャワーキャリーの椅子に下腿部を支持する部分が少ないためリフトアップ、リフトダウン時に介助者が利用者の下腿を支持する必要がある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社 愛生	愛生グリーンプラザ八千代	特定施設（介護付有料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り ②見守り機器の導入に伴う通信環境整備	①見守りシステム内蔵3モーターヘッド FB-033・L-3・30V M2 Wi-Fi ②Wi-Fi ルーターの設置（エレコム WAB-S1167/PS）	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月16日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>見守りベッド3台は、各居室に設置して、主に落ち着きの無い方や、徘徊の多い方が離床するとナースコールでお知らせしてくれますので、毎日使用しております。Wi-Fiに接続することで、事務所のパソコンでもベッド上の状況が分かります。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <p>見守りベッドを導入することで、ご入居者の起き上がりや動き出しをナースコールでいち早く知らせてくれますので、ご利用者の徘徊が減り、職員の定期的なお部屋への見回りの回数が減りました。何よりも職員の精神的な不安が減りました。お部屋への確認の回数が減ることで、入居者との接触回数も減り、感染症対策にも効果的だと感じました。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>誤作動が少なく、使いやすいので、もっと台数を増やしたいですが、金額的に不安です。今後も補助金等活用させて頂けると助かります。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社モアナケア	ラプレケア西船橋	訪問介護事業所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	Wells リフトキャリーWLC100	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 9日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>入浴介助で毎日利用。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数</u> → <u>導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・立位が不安定な利用者も安心安全に入浴ができています。 ・介護ヘルパーの腰痛予防になっている。 ・介助の時間が減り、利用者、介護者ともに負担が軽減している。 (1人の入浴介助にかかる時間が約1時間から約45分へ平均15分の短縮) 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>操作も簡単で、使いやすい。 利用者の安心感が伝わる。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4 年 3 月 29 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社リエイ	癒しの市川おにだか館グループホーム	認知症グループホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
コミュニケーションロボット	Aibo	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4 年 3 月 28 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 職員は育て方ガイドを確認しながら、日々「aibo」との接し方のコツを学んでいる。ご入居者には「aibo」へ話し掛けたり、撫でたりしていただき、反応を楽しんでいただいている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 「aibo」を迎えてまだ日が浅いが、定期的にコミュニケーションすることで、ご入居者には情緒交流、気分転換、癒しの効果を期待している。さらには自室に閉じこもりがちのご入居者には他の入居者との交流のきっかけにしていく。		
【介護ロボットの不都合な点】 バッテリーの持ち時間が短く長い時間触れ合うことができない。充電時間が長いので、触れ合う時間が限られてしまう。ボディが固く本物のペットのような温かみは得られない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人阿育会	ほうらい佐原寮	小規模多機能型 居宅介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 移乗介護 ③ 見守り機器の導入に伴う 通信環境整備	① リコーみまもりセンサーシステムタイプ C1 ② リコーみまもりベッドセンサータイプ C1(増設キット) ③ Wi-Fi ルーターの設置 商品名：エレコム WAB-I1750)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 9日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>当施設の2階ベッド5台中3台に設置。 立ち上がりや歩行が不安定な利用者の転倒や転落等を防ぐために使用。 起き上がり、端座位の通知を利用者ごとに設定。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>従来はセンサーマットを使用し対応していたが、それでは間に合わず転倒してしまう危険もあり。ベッドセンサーを使用することで起き上がり、端座位のセンサーを設定し転倒や転落のリスクを未然に防ぐことが可能になった。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>起き上がりの設定をし反応時に訪室するも起き上がっていないことがあった。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人愛生会	愛生苑デイサービスかがやき	老人デイサービス事業 (通所介護等)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴介助	アマノ リフト付きシャワーキャリー LS-500	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月16日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>導入から毎日、入浴介助時のご利用者の移乗に使用しております。</p> <p>1日4～5名くらいのご利用者に使用しておりますが、移乗回数が減り助かっております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>入浴リフトを使用する利用者への移乗回数が約50%減少し、移乗時の事故の軽減と職員の腰痛への不安が軽減されています。移乗の際のご利用者の不安を軽減して、女性スタッフ1名でもご利用者を移乗することが出来るので、一緒に移乗を手伝っていたスタッフが、他の介護に専念できる効果を得られました。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>とても扱いやすい製品で、職員はすぐに慣れました。しかし、ご利用者の一部になかなか慣れない方がいらっしゃるのので、早く慣れて頂くよう努めてまいります。</p> <p>使わない時に場所をとってしまうので、どこに置くべきかが今後の課題かもしれません。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月5日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人あすか福祉会	特別養護老人ホーム成島苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	セキスイ リフトキャリア「wells」	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年 2月 22日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>従来型特養の入居者様の中間浴として ADL の座位ができる入居者様の週 2 回の入浴の実施に活用させて頂いております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 <u>介護ロボット導入前に要していた時間数</u> → <u>導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <p>座位のまま浴槽に平行移動できるため職員の介護負担軽減にもなっております。 移動・移乗時間が通常 10 分程度要する時間⇒導入後 5 分～6 分程度に軽減。 人数は、1 名の職員が 1 日 5 名程度入浴実施。毎日入浴実施。 導入前 10 分×5 名×30 日=50 分×30 日=1,500 分=25 h 導入後 5 分×5 名×30 日=25 分×30 日= 750 分=12 h 30 分 25 分程度×職員 1 名当り×30 日=750 分=12 時間 30 分時間短縮となっております。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>リフトキャリアの足置部分が固定されており、長さ調節はできるが、角度調節ができない為膝関節等が拘縮されている入居者には不都合。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月18日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 美野里会	グループホーム 輝陽園	認知症対応型共同生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・コードレス HC-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 2月 10日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>夜間帯、居室にてトイレがわからずに床に排尿してしまう利用者に使用している。従来のコールマットでは配線を気にしてマットをずらしてしまうことがあり、巡視毎に居室内に入り、マットの確認と居室内の汚染状況を確認する必要があったがコールマットをずらすことがなくなり巡視時の負担が少なくなった。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>コードレスになることで配線が足元になくなり、利用者がマットをずらしてしまうことがなくなった。センサーが反応しコールが鳴ることでご本人が、夜間起床したことが確認でき、スムーズな声掛けが出来るようになった。そのことによりトイレでの排尿を促すことが出来るようになった。利用者本人も夜間に落ち着かなくなるのが少なくなり睡眠時間も増えた。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>導入した機器に関して、今のところ不都合なところはあります。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年3月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 慶美会	特別養護老人ホーム サンクレール谷津	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援システム「眠りSCAN」 (パラマウントベッド株式会社製)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年3月23日	6台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
<p>・機器導入後、看取り介護を行っている入居者のベッドを中心に設置。睡眠状態、起居・離床状態、呼吸数、心拍数をリアルタイムで把握できている。健康状態のモニタリングに効果を上げつつ、起居・離床状態の確認により、早めに訪室して観察することで転倒防止に努めている。</p>		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
<p>夜間等目配りが行き届きづらい時間帯においても、設定した基準値（心拍数・呼吸数等）を下回る（上回る）と職員が持つ端末にアラートされるため、状態変化にいち早く気づき適切な対応に繋げることができております。また、覚醒していることを確認した上で排泄等のケアに入ることができているため、入居者の睡眠を妨げず、良質な睡眠確保に繋がっております。入居者にとっても寝ているところを排泄介助で起こされることが無くなり、夜間不穏状態になることが無くなりました。</p> <p>介護時間の短縮につきましては、夜間の巡回において、見守り機器の確認にて「睡眠・呼吸・心拍」に異常がないことが確認できている入居者については、巡回を毎時ではなく2時間おきに変えて職員の巡回にかかる時間短縮に繋げております（機器導入前平均21分⇒機器導入後平均17分）。転倒回数の削減については、まだ機器導入後間もないため、今後成果が上がるか検証していきたいと考えております。</p>		
【介護ロボットの不都合な点】		
<p>・介護ロボット自体に不都合はございません。ただし、施設のWi-Fi環境が思わしくなく、設置している箇所によっては反応が悪い箇所があるので、ICTを進めていくにあたり、通信環境の改善は必須と考えております。</p>		